

科目名 在宅看護援助論Ⅰ 時間割表記名 在宅看護援助論Ⅰ		配当時期 2年次 単位数 1単位 時間数 30時間(15回)	講義担当者 田中裕貴 川上 瞬
事前学習内容			
授業目標 1. 在宅ケアの連携とマネジメントを理解することができる。 2. 訪問看護時の看護者の姿勢と態度について習得できる。 3. 在宅において対象に応じた生活支援が実践できる。			
DPとの関連 DP1. 看護の対象である人間を身体的・精神的・社会的・霊的に統合された生活者として理解することができる。 DP2. 一人ひとりの健康状態に応じて、最善の看護を選択し、科学的根拠に基づいた看護を実践できる。 DP3. 一人ひとりの多様な価値観や人権を尊重し、倫理観に基づいて看護を実践できる。 DP4. 保健・医療・福祉システムにおける自らの役割を理解し、多様な場で生活する人々の生活の質の向上のために多職種と連携・協働する意義と方法を理解することができる。 DP5. 自己を理解し、他者を尊重したうえで、人間関係を構築することができる。			
授業の流れ			
回	学習内容	方法	備考
1	1. 訪問看護時の看護者の姿勢と態度 初回訪問とそのプロセス	講義	テキスト①②
2 3	2. 対象に応じた生活支援－① 1) 食事に関する支援(胃ろうを造設している対象の支援) 2) 清潔に関する支援 (1) 食事の援助:経管栄養(胃瘻)	講義	テキスト①②
4 5	3) 移乗・移動に関する支援 (1) 活動の制限と生活行為への支援 (2) 在宅での移動・移乗の特徴 (3) 住まい・生活環境のアセスメント (4) 補助具 (5) 住宅改修 [実技]活動:ポジショニング、移動・移送	講義	テキスト①②
6 7	4) 褥瘡の予防とケア 5) 排泄に関する支援 【実技】ストーマケア(人工肛門、人工膀胱) カテーテル管理	講義・演習	テキスト①②
8 9	3. 対象に応じた生活支援-2 1) 在宅酸素療法を受けている対象の看護	講義	テキスト①②
10	2) 在宅人工呼吸器療法(HMV)を受けている対象の看護 (1) 非侵襲的陽圧換気(NPPV)を受ける療養者の援助 (2) 気管切開下陽圧換気(TPPV)を受ける療養者の援助		

11	3) 在宅中心静脈栄養法を受けている対象の看護 (1) 在宅中心静脈栄養とは (2) 在宅中心静脈栄養の適用条件 (3) 在宅中心静脈栄養を用いる療養者への在宅看護 (管理・必要となる援助・指導)	講義	テキスト①②
12	4) 在宅での腹膜透析における看護	講義	テキスト①②
13	5) 薬物療法に関する支援 (1) 地域・在宅看護における与薬 (2) 在宅における与薬のアセスメント (3) 与薬方法ごとの在宅ケアのポイント	講義	テキスト①②
14	6) 在宅における疼痛緩和ケア	講義	テキスト①②
15	筆記試験(45分)まとめ(45分)	試験(筆記)	
受講上の注意			評価方法 筆記試験
使用するテキスト ①系統看護学講座 専門分野 地域・在宅看護論〔1〕 地域・在宅看護の基盤. 医学書院 ②系統看護学講座 専門分野 地域・在宅看護論〔2〕 地域・在宅看護の実践. 医学書院 ③看護実践のための根拠がわかる在宅看護技術, メヂカルフレンド社 参考文献			